

月刊 いっぽ

vol. 53

2020年8月号

denken

いしてるコーナー（ICT）

新着情報

今月号は、「学びの保障」総合対策パッケージについてご紹介します。

文部科学省初等中等教育局より、2020年6月5日、新型コロナウイルス感染症対策に伴う児童生徒の学びの保障についての施策として「学びの保障」総合対策パッケージが発表されました。

基本的な考え方

～感染症対策と子供たちの健やかな学びの保障の両立～

①臨時休業中も、学びを止めない

・ やむを得ず臨時休業を行わなければならない場合であっても、学校が課外家庭学習と、教師によるきめやかな指導・状況把握により、子供たちの学習の継続及び学校との関係の維持を徹底

③あらゆる手段を活用し、学びを取り戻す

・ 感染防止に配慮しつつ、時間割編成の工夫、長期休業期間の見直し、土曜日の活用、学校行事の重点化などのあらゆる手段を用いて、協働的な学び合いを実現しつつ学習の遅れを取り戻す

②速やかに、できることから学校での学びを再開する

・ ゼロか百かで考えるのではなく、感染拡大のリスクを最小限にしつつ、人数・日時を限った分散登校の積極的な活用などにより、できることから学校での学びを再開

④柔軟な対応の備えにより、学校ならではの学びを最大限確保

・ 特例的措置も活用した教育課程の見直しやICT環境整備などを含め、柔軟な対応が可能となるための準備を進め、一旦収束しても再度感染者が急激に増加するような場合であっても学校ならではの学びを最大限に確保

上記の基本的な考え方を踏まえ、文部科学省として

- I. 効果的な学習保障のための学習指導の考え方の明確化
- II. 国全体の学習保障に必要な人的・物的支援をまとめています。

詳細は下記URLをご参照ください。

「学びの保障」総合対策パッケージ【詳細版】

https://www.mext.go.jp/content/20200605-mxt_syoto01-000007688_2.pdf

空中映像をタブレットのように操作
(非接触HMI「Human Machine Interface」)

人間と機械が情報をやりとりするための手段として、空中に表示された映像と高精度センサーを組み合わせて、空中に表示されたスイッチやアイコンをタブレット端末のように操作できる技術があります。

画面に直接触れることなく操作できるため、発券機などで画面タッチ操作を行っていた機器が、画面に触れることなく操作ができるようになるのかもしれませんが、暗証番号を入力する機器では覗き見防止をどうするかが気になるところです。

この技術の応用で、SF映画で見るようなジェスチャーで画面などを操作するシーンが実現できるような機器が登場するのが楽しみです。

情報元

https://ssl4.eir-parts.net/doc/6810/ir_material21/144618/00.pdf

★今日の一言★

日中の暑さやセミの声は夏を感じさせますが、今年は夏が来たと思えないのはなぜでしょうか？

夜空に花火があがらないため、夏という感じがしないのではないのでしょうか。

VRで花火を見る方法もあるようですが、お腹に響く花火の音を感じるの夏が一番ですね。

8月1日(土)

直山崎デンケン
憲一